

土砂災害ハザードマップとは

土砂災害ハザードマップとは、土砂災害防止法（※）に基づき、土石流や急傾斜地の崩壊などによる土砂災害を警戒すべき区域のほか、避難する場所や土砂災害から命を守るために必要な情報をお知らせするものです。

川辺町では、岐阜県による土砂災害警戒区域の指定を受け、川辺町内を13地区に分け、土砂災害ハザードマップを作成しています。作成にあたっては、平成24年度のワークショップによる意見を基に地区、防災団体の意見をまとめて反映しています。

昔から、「災害は忘れた頃にやってくる」と言われています。いざという時こそ落ち着いて行動ができるよう、この土砂災害ハザードマップを活用して、日頃から家族や近所の人々と「土砂災害から命を守る行動」について話し合っておきましょう。

みんなが一緒にいざというときにこの避難場所に行き、待てばいいよな

避難するときは、安全を考えてこのルートを通ろう！

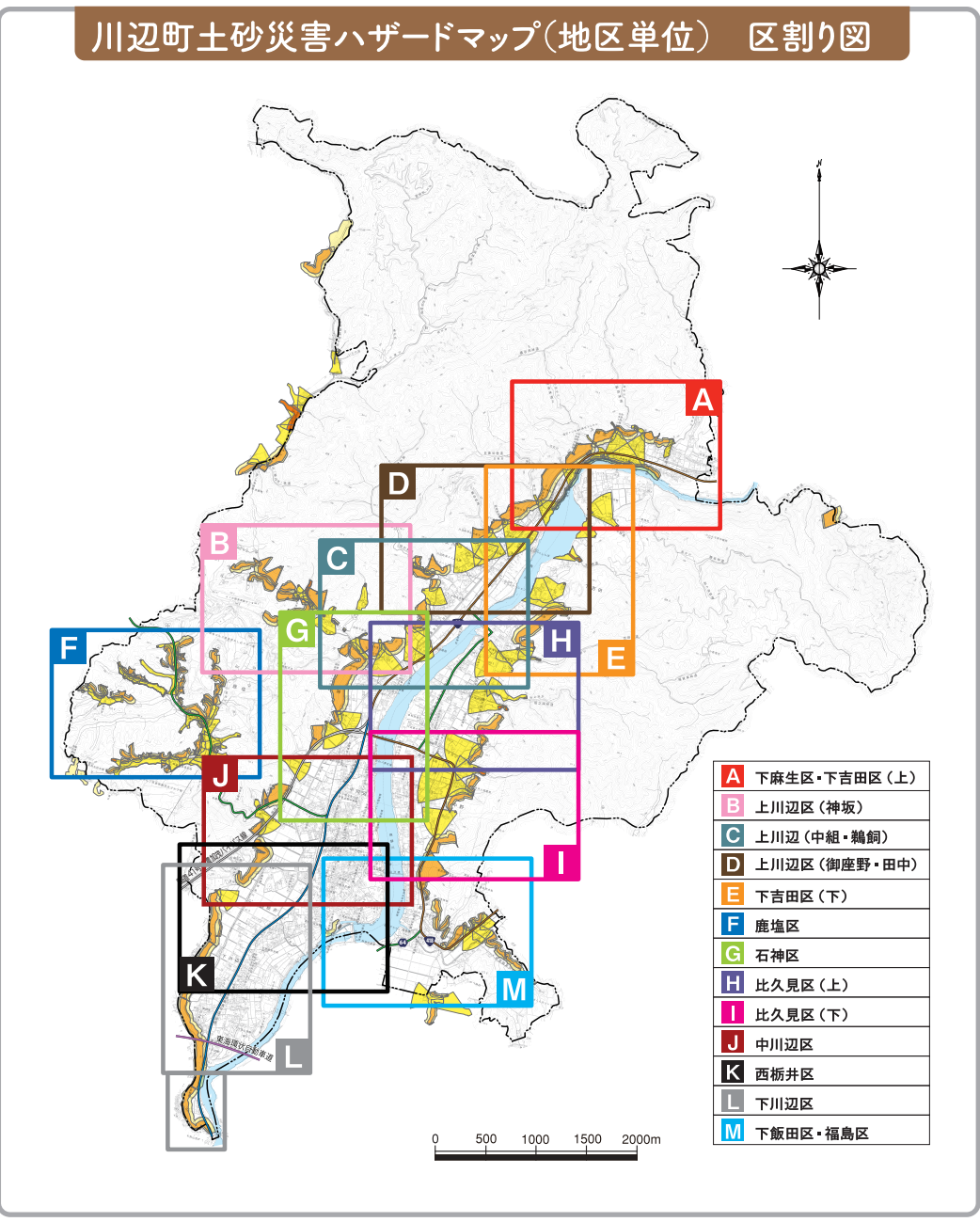
（※）正式名称「土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律」この法律は、土砂災害から住民の生命を守るために土砂災害のおそれのある区域について危険を周知するとともに警戒避難体制を整備し、住宅などの新規立地の抑制や既存住宅の移転促進など、ソフト対策を推進しようとするものです。

土砂災害ハザードマップのお問い合わせ先

川辺町役場 総務課

〒500-0393 岐阜県加茂郡川辺町中川辺 151-8-4
TEL.0574-53-2511(代表) FAX.0574-53-2374

メールアドレス soumu@kawabe-gifu.jp
防災課ホームページ http://www.kawabe-gifu.jp/

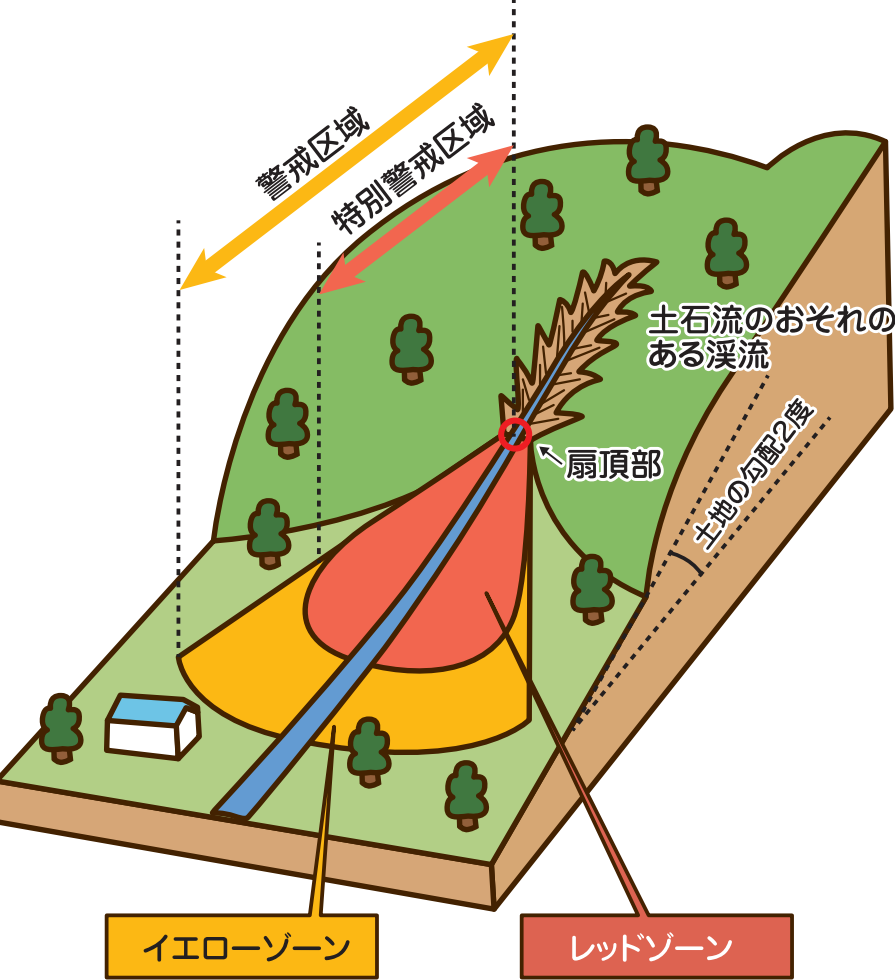


土石流

前兆現象を見つけたら、すぐに役場などに連絡しましょう！

土砂流の特徴

山や谷底の土砂、石、流木が大雨や長雨などによる水と一緒に一気に流れ下る現象です。



土砂流の前兆現象

雨が降っているのに川の水量が減る。

山鳴りがする。

川が濁ったり、木が流れている。

土砂流が発生した場合

土砂流はスピードが速いので、流れてくる方向に対して直角に逃げましょう。

流れてくる方向

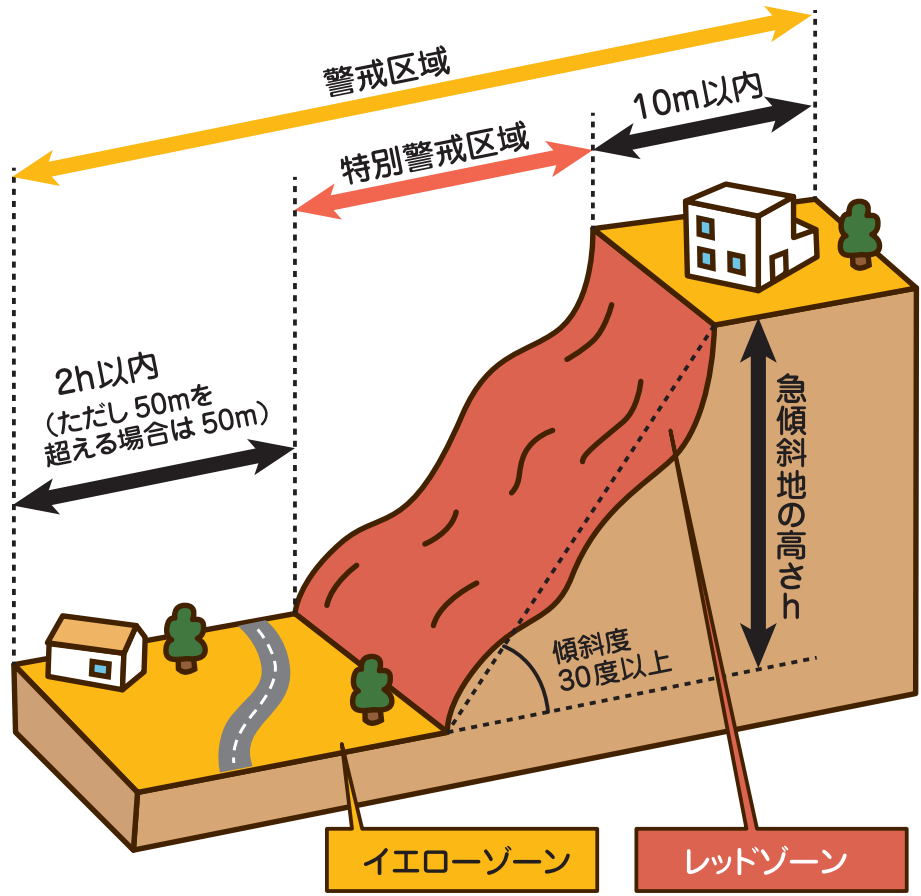
直角に避難

がけ崩れ

前兆現象を見つけたら、すぐに役場などに連絡しましょう！

がけ崩れの特徴

地面にしみ込んだ水が斜面をゆるめ、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちる現象です。



がけ崩れの前兆現象

がけから小石が落ちてくる。

がけからのわき水が増えたり、濁る。

わき水が止まったり、斜面に亀裂ができる。

がけ崩れが発生した場合

がけ崩れの土砂は、がけの高さの2倍の距離まで届くため、できるだけがけから離れましょう。

できるだけがけから離れて避難

がけの高さの2倍

日頃の備え

非常持出品や備蓄品を用意しましょう。

家族構成にあわせ、必要最小限の非常持出品をいつでも持ち出せるよう、リュックなどに入れて準備しておきましょう。

また、被災後の生活を支えるため、1人あたり7日分(最低でも3日分)の水、食料、生活用品などの備蓄品を準備しておきましょう。

「ローリングストック法」を活用しましょう！

水は1人あたり1日3リットルがめやすです！

使った分だけ買い足す

日常的に使う

日頃から少し多めに食材や加工食品を買っておき、使った分だけ買い足すことで、常に一定量の食料を備蓄しておくことができます。

また、備蓄食料の消費期限切れを防ぐこともできます。

準備ができたら、□にチェックを入れてみましょう。

非常持出品	避難時に持ち出すもの	備蓄品	復旧までの数日間分準備するもの(最低3日、できれば7日)
生活用品	☐ 携帯ラジオ ☐ 懐中電灯 ☐ 予備の乾電池 ☐ 水筒 ☐ 紙コップ ☐ 紙皿 ☐ 割りばし ☐ 缶切り ☐ 万能ナイフ ☐ ペットボトル	☐ 新聞紙 ☐ 洗面用具 ☐ バケツ ☐ 紙食器 ☐ カセットコンロ(燃料) ☐ ライター ☐ フード付雨カッパ ☐ 裁縫道具 ☐ 石けん ☐ 生理用品 ☐ 万能ナイフ ☐ 布ガムテープ ☐ タオル ☐ 軍手 ☐ ろうそく ☐ レジャーシート ☐ ひも ☐ くつ・スリッパ ☐ ティッシュ ☐ ラップアルミホイル ☐ 簡易トイレ	
救急医療品	☐ ばんそうこ ☐ 包帯 ☐ 消毒液 ☐ 傷薬 ☐ かぜ薬 ☐ 持病の薬		
非常食	☐ 飲料水 ☐ 缶詰 ☐ アルファ米 ☐ 乾パン ☐ レトルト食品		
貴重品	☐ 現金(小銭も) ☐ 預貯金通帳 ☐ 印鑑 ☐ 家・車のキー ☐ 各種カード ☐ 携帯電話 ☐ 免許証・保険証のコピー	☐ 飲料水(1人1日3リットル) ☐ アルファ米 ☐ 乾パン ☐ 缶詰 ☐ 調味料 ☐ レトルト食品 ☐ チョコレートなどの菓子類	
その他必要に応じて準備	☐ 着替え ☐ タオル ☐ 予備のメガネ ☐ ラップ ☐ ウェットティッシュ ☐ ビニール袋 ☐ 雨具 ☐ お薬手帳 ☐ 母子手帳 ☐ 粉ミルク ☐ ほ乳びん ☐ 紙オムツ ☐ 生理用品 ☐ ライター ☐ 軍手 ☐ マスク ☐ カイロ ☐ 筆記用具 ☐ 連絡先記載のアドレス帳 ☐ 笛 ☐ 携帯電話の予備バッテリー ☐ ヘルメット・防災ずきん	☐ 着替え用衣類・靴下 ☐ 帽子 ☐ 着替え用肌着 ☐ 毛布 ☐ マスク	

避難に役立つ情報の入手

情報の伝達経路

気象注意報・警戒報や土砂災害・洪水に関する情報、避難情報は、下の図のような経路でみなさんに伝達されます。災害発生危険があるときは、情報を入手し、早めの避難を心がけましょう。

岐阜地方気象台

岐阜県

川辺町

報道機関

インターネット

戸別受信機・同報無線

広報車

消防団・自治会

ホームページ

すぐメールがかわる

テレビ・ラジオ

町民のみなさん

① 岐阜地方気象台

【情報】気象注意報・警戒報、大雨警戒(土砂災害)危険度分布、高潮警報(津波)大津波、台風情報等

【URL】<https://www.jma-net.go.jp/gifu/>

② 岐阜県総合防災ポータル

【情報】避難情報、避難所開設情報、警戒レベル、気象情報等

【URL】<https://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/>

③ ぎふ土砂災害警戒情報ポータル

【情報】土砂災害警戒情報、雨量情報、大雨警戒(土砂災害)危険度分布等

【URL】<http://gis.sabo.pref.gifu.lg.jp/map/ikikendo.do>

④ 川辺町ホームページ

【情報】災害情報、避難情報、防災情報、生活情報等

【URL】<http://www.kawabe-gifu.jp/>

⑤ 国土交通省 川の防災情報

【情報】土砂災害警戒情報、雨量情報、大雨警戒(土砂災害)危険度分布等

【URL】<http://www.river.go.jp/portal/#80>

⑥ メール配信サービス「すぐメールがかわる」

【情報】避難情報、防災情報、防災生活情報、お知らせ等

【URL】http://www.kawabe-gifu.jp/?page_id=8416

警戒レベルとみなさんのとるべき行動

警戒レベル3で高齢者などは避難！ 警戒レベル4で全員避難!! (避難勧告などが発令されていなくても危険を感じた場合は、早めに自主避難をしてください!)

警戒レベルとは、災害発生危険度とみなさんのとるべき行動を直感的に理解するための情報です。川辺町が発令する避難情報のほか、警戒レベルに相当する防災気象情報にも注意を払い、早めの避難を心がけましょう。

土砂災害 警戒レベル3 大雨警戒(土砂災害)危険度分布

土砂災害 警戒レベル4 大雨警戒(土砂災害)危険度分布

土砂災害 警戒レベル3 大雨警戒(土砂災害)危険度分布

土砂災害 警戒レベル4 大雨警戒(土砂災害)危険度分布

地図上で5段階に色分けされた土砂災害発生危険度の高まりを確認することができます。危険度が高まっている範囲にお住まいの方は、土砂災害警戒区域外であっても安全な場所へ、早めの避難を心がけましょう。

気象庁WEB 大雨警戒(土砂災害)危険度分布

<https://www.jma.go.jp/jp/doshamesh/index.html>

時間のながれ	警戒レベル	みなさんのとるべき行動
大雨の予想	1	災害への心構えを高める
降雨	2	ハザードマップ等で避難行動を確認
雨が降り続く強まる	3	避難に時間を要する人(高齢者・障がいのある方・乳幼児等)とその支援者は避難 その他の人は避難の準備
土砂災害の危険性が高まる	4	速やかに避難 ※避難場所までの移動が危険な時は、近くの安全な場所や自宅内より安全な場所に避難
土砂災害発生	5	命を守るための最善の行動をとる ※災害がすでに発生している状況

気象庁が発表する警戒レベルに相当する防災気象情報			
気象 警報・注意報	危険度分布	指定河川 洪水予報	相当する 警戒レベル
早期注意情報 (警報級の可能性)			
大雨注意報 洪水注意報	注意 (注意報級)	氾濫注意情報	2 相当
大雨警報 (土砂災害)(浸水害) 洪水警報	警戒 (警報級)	氾濫警戒情報	3 相当
土砂災害警戒 情報	非常に危険 極めて危険	氾濫危険情報	4 相当
大雨特別警報 (土砂災害)(浸水害)		氾濫発生情報	5 相当

避難する時の心得

雨の降り方に注意

100ミリ

急に激しい雨が降ったり、連続雨量100ミリ以上の雨が降り続く時は、土砂災害の発生する可能性が高くなります。

気象情報や避難情報を入手

台風が接近したり、大雨になる予報が発表された場合には、気象情報や避難情報などを入手するように心がけましょう。

避難の前に

避難する前に電気・ガスなどの火元を消しましょう。また、親戚や知人に避難する旨を連絡しておきましょう。

危険な箇所を回避

土砂災害の危険箇所や浸水しやすい箇所などを避けて避難しましょう。

避難の呼びかけに従う

避難の呼びかけに従って、すみやかに避難しましょう。

動きやすい服装、2人以上で避難

避難する時は動きやすい服装で、2人以上での避難を心がけましょう。

お年寄りなどの避難に協力

お年寄りや子ども、病気の人は、早めの避難が必要です。近所のお年寄りなどの避難に協力しましょう。

水深が50cm以上は歩くことが危険

水深がひざまで来ると歩くことが困難になります。水深が浅くても流れに勢いがある場合には、むやみに歩き回することは危険です。

浸水箇所の避難には注意

浸水箇所があった場合には、長い棒を利用して、水路や側溝などがなく、確認しながら十分注意して避難しましょう。

避難する余裕がなくなってしまった場合

激しい雨が降っている、外が暗くなっている、浸水が始まっているなど、避難する余裕がない場合には、近くの頑丈な建物や家の中でがけや沢から遠く、高い場所に移動しましょう。

避難する時の「助け合い」

避難をする時、周りに高齢者、障がいのある方や妊婦の方など（要配慮者）、自力で避難することが困難な人がいたら、近所で声をかけ合い、助け合いましょう。

避難の支援は、要配慮者と支援者の共同作業です。

支援を押しつせず、立場を尊重する

はなしに耳をかたむける

笑顔で不安を取りのぞく

プライバシーを尊重する

できない支援や約束をしない

薬を飲ませるなどの医療行為はしない

みなさんの思いやりが、支援を必要とする方の安心につながります。

【視覚障がい者の方】

☐ 正面から声をかける ☐ ひしを持ってもらい半歩前に立ち、ゆっくり歩く

【高齢者の方】

☐ 声をかける ☐ 腕をかく ☐ おんぶする

【車いすの方】

☐ 階段は、3〜4人で介助 ☐ 下る時は後ろ向き ☐ 乗る・降りる・止まる時はブレーキ

【聴覚障がい者の方】

☐ 顔を見て、ゆっくり大きく口をあけて話す ☐ 筆談する

【乳幼児や妊婦の方】

☐ 体調に気を配る ☐ 持ち物を持ってあげる

【外国人の方】

☐ 身ぶり手びりで伝える